

# 「プログラミング的思考」を育成するための授業案

教科	音楽		日時	
単元名	めざせ楽き名人			
本時のねらい (教科)	リズムパターンの面白さを感じ取りながら、反復、変化、終止感などの工夫を生かしてリズムを配置する。			
「プログラミング的思考」育成のためのポイント	「かなでてみよう」を操作し様々なリズム配置を試していくなかで、まとまりのある4小節の音楽を作りだす。			
時間	学 習 活 動	○指導のアイディア・支援・指導の留意点等		
10	1 本時の課題を知る。 ・ 「かなでてみよう」の使い方、リズムパターンを知る。	○大型テレビを使い、音を出しながらリズムを確認できることを全体に知らせる。		
	音ぷのならば方を工夫して、まとまりのある4小節の音楽をつくろう			
30	2 「かなでてみよう」を使い、4小節のまとまりのある音楽を作る。	○実際に音を出し、手拍子をしながらリズムの確認をする。 ○全員が終止感に着目できるようにし、4小節で完結する音楽をつくる。 ○終止感に加え、反復、再現、変化など、音楽を形づくっている要素に着目できるよう例を提示する。 ○様々なリズムの組み合わせをすることで、自分のお気に入りの音楽になるようにする。 ○組み合わせが困難な児童は、3・3・7拍子のリズムを元につくる。 ○お気に入りのリズムをワークシートに書き写す。		
5	3 本時の学習をふり返る。	○大型テレビに2・3人の児童のリズムを映し、リズムを全員で確認する。 ○組み合わせたりリズムの良かったところ、面白いと思ったところなど発表する。 ○次の授業で作ったリズムに音を付けることを知る。		